

◆今期間のポイント

<主要しょう乱の概要>

- ・台風第31号については最新の台風予報を参照。
- ・4日から5日にかけて、高気圧が本州付近を通して日本のはるか東へ移動する。
- ・5日から6日にかけて、低気圧が伊豆諸島付近から日本の東に進む。
- ・5日から7日にかけて、低気圧が日本海からオホーツク海を通してカムチャツカ半島付近に進む。
- ・7日から8日にかけて、高気圧が大陸から日本付近へ張り出す。

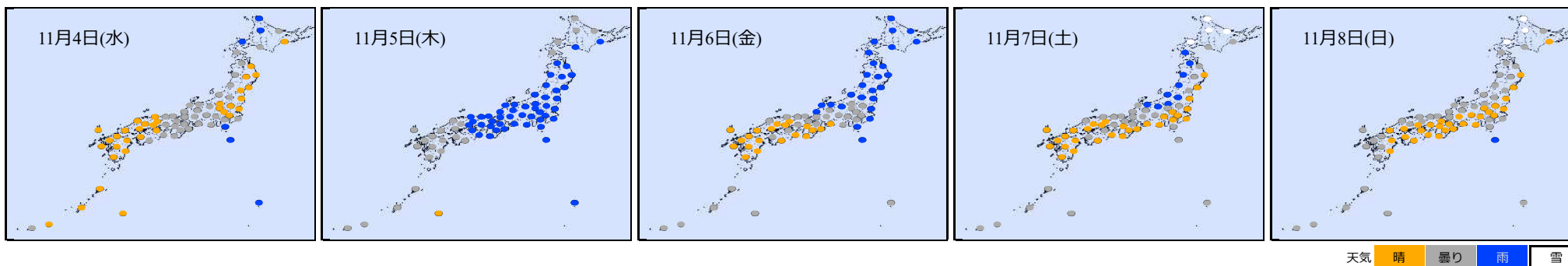
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- ・6日頃にかけて、台風第31号の影響で小笠原諸島では荒れた天気となり、台風の進路等によっては大しけや大荒れとなるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

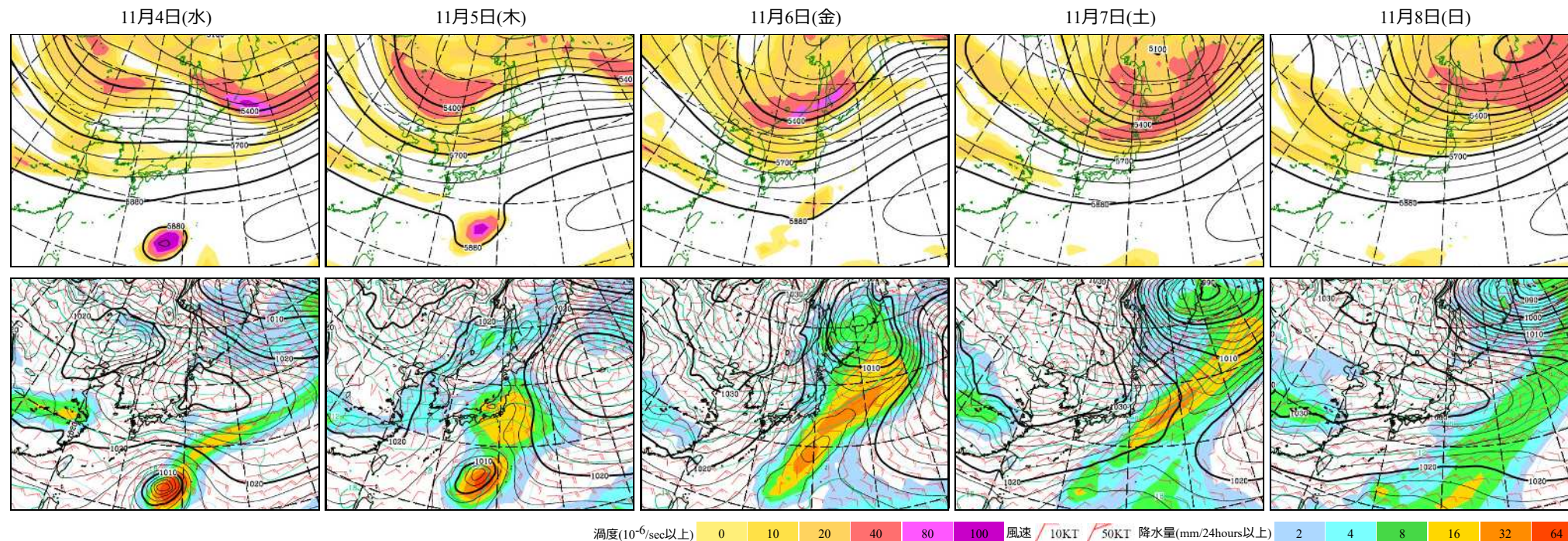
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

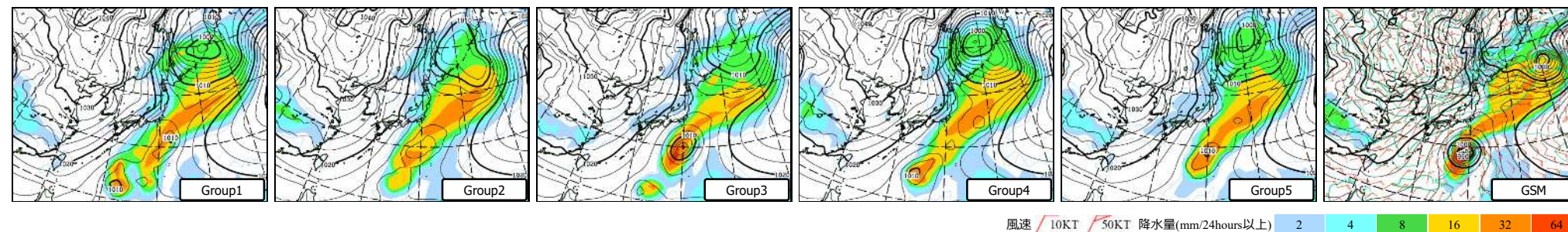


- ・北日本と東日本日本海側は、曇りや雨または雪の降る日が多い。
- ・東日本太平洋側は、晴れや曇りの日が多いが、4日から6日にかけては雨が降る所がある。
- ・西日本は、晴れや曇りの日が多いが、5日は雨が降る所がある。
- ・沖縄・奄美は、曇りや晴れの日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、850hPa気温、前24時間降水量(21時)



◆11月6日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSM予想図 海面気圧、地上風及び850hPa気温(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、5日から7日にかけて日本付近を通過するトラフがやや浅くなった。
- 4日から6日にかけて、低気圧が中国東北区からサハリン付近を通過してオホーツク海に進む予想および、別の低気圧が伊豆諸島沖から日本の東を通過して、千島近海から千島の東へ進む予想は、各モデルでおおむね揃っている。
- スプレッドは期間を通して小さく、特定高度線のばらつきも小さい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、伊豆諸島沖で発生する低気圧については各単独モデルの予想も考慮しつつ、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。